

ムクゲ・・・



ムクゲはハイビスカスやフヨウの仲間で、乾燥に強く、荒れ地にも耐えるので庭木だけでなく、排気ガスにもある程度の耐性があるので、道路路側帯などにも植栽されています。その強さは、枝を切って地面に刺しておくで、いつの間にか根づくほどです。種子もよく稔り、自然に若木が発生します。

高さは3～4 mに育ちます。花期は7～10月頃と大変長く、まさに夏中を通して楽しむことができます。花の大きさは10 cmほどもあり大きく目立ちます。朝方に花が開き、夕方にはしぼんでしまう一日花です。ですから、「槿花一朝（きんかいっちょう）の夢」（人の世は儚いの意）に例えられますが、花が次々に咲き、しかも花期の長さも相まって、朝鮮では無窮花と呼ばれています。こうした、長くたくさんの花を咲かせる忍耐強さからムクゲは韓国の国花にもなっています。

ムクゲの和名の由来は、この「無窮花（ムグンファ）」または「ムキュウゲ」が変化して「むくげ」となったとも、漢名の「木槿」の音読み「もくきん」が変化して「むくげ」となったとも言われています。

花の中心にあるのは、花糸が合着して筒状になり葯を立ち上げたおしべと、その筒に包まれためしべです。めしべの柱頭（先端）は5つに分かれます。白花系の蕾は、「木槿花（モクキンカ）」として漢方に用いられます。6号棟と7号棟の間、管理事務所の前等に咲いています。